

## 解体予定の公共施設を活用した震災対応訓練を実施しました

駿東伊豆消防本部

令和5年8月の約1か月間、解体予定の公共施設を活用した救助訓練を実施しました。

内容は、地震災害・建物火災を想定とし、倒壊建物から要救助者を救出するための進入口の設定や、施錠された玄関ドアの開放技術についての研究、各種資機（器）材取扱技術の向上を目的として実施しました。

今回の訓練では、普段の訓練では得られない貴重な経験と学びが得られました。当本部としましては、多くの職員にこのような経験を積ませることで、引続き実災害対応能力の強化に努めてまいります。



消防通信

望

楼

ぼうろう

## UR西大和団地消防・救助訓練

埼玉県南西部消防局

当消防局では、株式会社URコミュニティの協力により、解体予定の建物を利用し、埼玉県警察本部、東京消防庁、戸田市消防本部と合同で3日間総勢約285人の隊員及び職員が消防・救助訓練など実践的な訓練を実施しました。この訓練は、日頃使用している訓練施設では得られない実践的な訓練を行い、隊員の災害対応能力向上を図ることを目的とし、実施しました。

今後も、関係機関と協力し、消防職員の災害対応能力の向上に努めてまいります。



## 列車内進行型殺傷事件対応訓練に参加しました

東大阪市消防局

令和5年8月30日（水）に、近畿日本鉄道職員、警察職員及び東大阪市消防局職員が合同で、近鉄東花園駅及び同駅に向かって進行中の列車車内を使用して、「列車内進行型殺傷事件対応訓練」を実施しました。

電車内からホームでのリアルな逮捕劇や、護身術訓練は大変参考になりました。

訓練中の救急隊も、警察職員の方に護衛されながら現場まで案内され、安全・迅速に救急活動ができました。

今後も、こういった貴重な合同訓練に参加し、「市民生活の安全確保」に努めてまいります。



## 消防団と合同で開催！消防ふれあい広場

豊田市消防本部

豊田市消防本部は、令和5年9月3日に豊田市消防団と合同で、地域住民の防火・防災意識を高めるとともに、消防団の魅力を発信するためのイベント「末野原分署・消防団ふれあい広場」を初めて開催しました。

イベントでは、全国消防イメージキャラクター「消太」との記念撮影や地震体験などのブースを通して、会場に訪れた幅広い世代の人たちが、防火・防災について学びました。また、消防団の魅力を発信するため、消防職員と消防団員で火災現場を想定した消防訓練を披露しました。



消防通信/望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】